

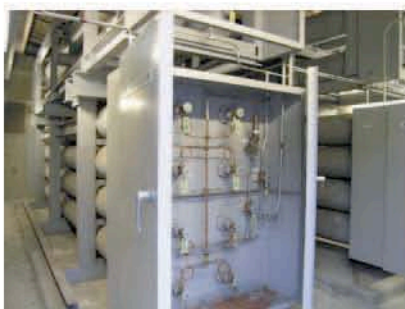


京都大学低温物質科学研究センター宇治地区寒剤供給部



ヘリウム液化機

京都大学宇治地区では、1970年から化学研究所・極低温物性化学実験室が中心となって研究用寒剤の供給業務を実施してきたが、2002年4月の京都大学全学組織・低温物質科学研究センター（LTMセンター）の発足に伴い、現在は低温物質科学研究センターが管理・運営を行っている。現在のヘリウム液化システムは1997年度に更新されたものである。宇治地区では年間、液体窒素約9万リットル、液体ヘリウム約2.5～3万リットルを寒剤利用者に供給している。



ヘリウムガス長尺貯槽



外部精製器と中圧ガスドライヤー



液化用圧縮機

ヘリウム液化システム 1997年度更新

ヘリウム液化機（内部精製器付、液体窒素使用）

Linde TGF-20 50L/h

ヘリウム貯蔵容器 2000 L

液化用圧縮機 KAESER DS200 0.93 MPa

回収用圧縮機 Sulzer Burckhardt C5N210GX × 2機

ヘリウム回収ガスバッグ 30m³

ヘリウムガス精製機

中圧ガスドライヤー

処理能力

ヘリウム回収用圧縮機

3652.0 Nm³/日

液体窒素貯槽タンク

66.3 Nm³/日

合計

3718.3 Nm³/日

貯蔵能力

液化窒素

7144.2 kg

ヘリウムガス

2109.7 m³

合計（ガス換算貯蔵能力）

2822.3 m³

液体窒素貯槽タンク 8820L

刊行物：低温物質科学研究センター誌 2003年発行開始

<http://www.ltm.kyoto-u.ac.jp/>

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学低温物質科学研究センター宇治地区寒剤供給部